

教
えて
ドクター!



お子さんやお孫さんの歯に関する悩みや、義歯、インプラント、口腔ケアに関する疑問に、歯学博士・三枝尚登先生がこまち誌上で回答します。

Q1. 毎日歯磨きしているのに、 気がついたら虫歯になっています。 どうすればいいですか?

A1. まず、磨き残しのないブラッシング法を身に付けることが大切ですが、私たちは患者さんに対して以下のような対応をしています。

- ① 唾液の量と質を検査する。
- ② お口の中の細菌を培養して、今、どのような細菌が活発化しているか確認する。
- ③ 遺伝子的に歯周病タイプか虫歯タイプか判別する。

たとえば、お口の中に食物を入れれば、口の中の環境は酸性に傾きます。それを中和させるのは、耳下腺から分泌される耳下腺唾液です。

この耳下腺唾液の量が少なかったり、性能が劣っていれば、お口の中はなかなか中性には戻りません。そのため、無機質の歯の表面は脱灰されて、いわゆる虫歯になります。

また、口の中の細菌の性状によっては、ブラッシングだけでは虫歯を完全に防ぐことはできません。ですから、体質に合わせて専門医が把握し、患者さんそれぞれに合わせた予防プログラムと治療法を立案することが歯科保存学の先進医療なのです。

Profile

三枝尚登 [Hisato Saegusa]

◎三枝デンタルオフィス / 高松インプラントセンター

1991年 日本歯科大学大学院博士課程修了

1994年 高松インプラントセンター開設

1995年 ブローネマルク・システム・インプラント・インストラクター ノーベル・ファルマ社(現ノーベル・バイオケア社)認定
高松市、新潟市、大阪市にて歯科医師対象にインプラント治療のトレーニング・コースを始める。

1998年 エンドボア・インプラント・インストラクター イノバ社認定

2001年 アストラテック・インプラント・インストラクター アストラテック社認定

International Association for Dental Research(国際歯学研究会)正会員

American Academy of Periodontology(アメリカ歯周病学会)正会員

Academy of Osseointegration(オッセオインテグレーション学会)正会員

American Academy of Cosmetic Dentistry(アメリカ審美歯科学会)正会員

to be continued
質問募集中!

「香川インプラント・シンポジウム」開催!

詳細は、高松インプラントセンター ☎087-833-5008

参加
無料

日時: 3/25(日)

会場: あなぶきホール・大会議室

歯科治療は、歯科保存学へ。

歯科保存学というのは、歯科の中の専門分野のひとつです。

たとえば、口腔外科といえば、抜歯をはじめ、病気になった部分を外科的に切除する方法と学理を研究する専門分野です。

対して歯科保存学は、その名称のとおり、歯を保存する、歯を支える歯周組織を保存する、歯列を保存する、口の中の組織を長く残すための治療法について研究する学問なのです。